

■鈴木正三 大坂の陣が終わるや、武士から禅僧に転身、仏教復興運動に尽くし、仏教説話が仮名草子の先駆となった。

すずきしょうさん

安土教会許可1579＝ 徳川氏麾下の小土豪として三河国足助庄に生まれ、

本能寺の変・1582＝ 3歳：同年齢の子の死にショックを受ける。三河武士の養子になる。

刀狩海賊取締1588＝ 9歳：

秀吉全国統一1590＝11歳：徳川氏の移封とともに上総に転じた。

この頃、ある体験出離の志をもち、

関白秀次事件1595＝16歳：「宝物集」を読んで感動、仏教修行に励み、宇都宮で修行中の妙心寺僧大愚宗築、愚堂東庵らと交流。

慶長の役・・・1597＝18歳：

関ヶ原の戦い・1600＝21歳：関ヶ原の戦いに出陣、

徳川家康隠居1605＝27歳：

家康駿府退隠1607＝29歳：

大坂冬の陣・1614＝35歳：大坂冬の陣に参加、戦功により岡崎に領地を貰う。

大坂夏の陣・1615＝36歳：大坂夏の陣に参加後、旗本として江戸駿河台に住した。

徳川家康没・1616＝37歳：

菱垣廻船始・1619＝40歳：大坂城詰の時、「盲杖」を著す。大愚が江戸に南泉寺を開いて住すると、これに参じ、

支倉常長帰国1620＝41歳：*武士を捨てて出家した。以後、仏教復興を念願して、大和法隆寺で沙弥戒をうけた真言律僧の賢俊良永、豊後多福寺の妙心寺派僧雪窓宗雀、曹洞宗でのち宇治に興聖寺を再興した万安英種、日蓮宗から天台宗に転じ日蓮宗批判を行った舜統院真超ら同じ志をもつ各宗僧侶と交流し、仏教復興運動の中心となって行く。

徳川家光将軍1623＝44歳：三河に帰り千鳥山で修行、

イパニヤ断交・1624＝45歳：*石平山に庵を構え、庶民へも説法するようになる。

徳川秀忠没・1632＝53歳：ここに家康、秀忠の位牌を安置して恩真寺と号する。この頃、「二人比丘尼」成るか。

鎖国令始・・・1633＝54歳：

また各地を巡錫して民衆教化につとめた。

島原の乱始・1637＝58歳：天草の乱に弟重成が従軍。

鎖国令Ⅴ・・・1639＝60歳：*大悟する。

家光鎖国完成1641＝62歳：

初の高札・・・1642＝63歳：天草代官となった弟重成に呼ばれて天草へ行き、幕府の援助で32寺を建て、キリスト教を批判、「破吉利支丹」を書いて配る。

徳川家光没・1651＝72歳：

江戸へ出て幕府に仏教による治国を献策すべく活動し、家光の嗣子家綱の守役となった松平乗寿や長崎奉行であった馬場利重を通じてその実現に執念を燃やしたが、

・・・・・・1655＝76歳：*果たさずして、没した。